

# 安全データシート

作成日 2019年8月1日

改訂日 2022年4月1日

## 1.化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ダンマル
会社名	東工業株式会社
住所	埼玉県八潮市木曽根744
担当部署	八潮工場
住所	埼玉県八潮市木曽根744
電話	048-996-9235
F A X	048-997-2597

## 2.危険有害性の要約

G H S 分類	情報不足のため、分類できない
G H S ラベル要素	情報不足のため、分類できない
危険有害性情報	情報不足のため、分類できない
注意書き	
応急措置	
吸入した場合	吸入後気分が悪い場合、大量に吸入した場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	一般の異物が入った時と同様に洗眼除去する。眼の刺激が続くならば医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。
皮膚又は毛髪に付着した場合	払い落すか、水洗にて除去する。
保管	常温以上で固化しやすくなるので、15℃以下の冷所にて保管することが望ましい。
廃棄	粒状として廃棄する場合は、一般塵芥と同様に焼却する。

有機溶剤溶液として廃棄する場合は、その使用溶剤の処理方法に準じる。

### 3.組成・成分情報

単一化学物質・混合物の

区別

単一化学物質

含有成分

ダンマル 100%

CAS No.

9000-16-2

官報公示整理番号

(8) - 38

PRT R対象

対象外

### 4.応急措置

吸入した場合

うがいをする。少量であれば特に影響はない。  
気分が悪ければ、医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合

一般の異物が入った時と同様に洗眼除去する。  
目の刺激が続くならば、医師の診断、手当てを受けること。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

飲み込んだ場合

吸入した場合と同様。

### 5.火災時の措置

使用可能な消化剤

水、炭酸ガス、泡(耐アルコール性泡消化剤)、粉末、乾燥砂

消火方法

着火した場合、火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消化する。また、延焼の恐れのないよう、水スプレーで周囲の火災に暴露されている表面を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

### 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護眼鏡、防塵マスクを着用すること。

保護具及び緊急時措置

床面などにこぼれた場合は掃き集めて回収する。

措置内容

使用できない場合は、一般塵芥と同様に焼却する。

## 7.取扱い及び保管上の注意

### 取扱い上の注意

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取り扱いをしてはならない。

吸入しない又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。これらの恐れのあるときは個人保護具を着用する。

取扱い後は手洗いを充分に行い、衣服に付着した場合は着替える。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

### 保管上の注意

常温以上で固化しやすくなるので、15℃以下の冷所にて保管することが望ましい。

湿気厳禁。

## 8.ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度、許容濃度

管理濃度 設定されていない

### 許容濃度

日本産衛学会 設定されていない

ACGIH 設定されていない

### 設備対策

特に必要ない。

### 保護具

#### 呼吸器の保護具

防塵マスクを着用すること。

#### 眼の保護具

保護眼鏡（安全ゴーグル等）を着用すること。

### 衛生対策

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

## 9.物理的及び化学的性質

### 物理的状態、形状、色等

微黄白色粒状

### 臭い

特有の臭い

### pH

該当せず

### 融点・凝固点

115～165℃

### 沸点・初留点及び沸騰範囲

データなし

### 引火点

データなし

### 軟化点

75℃以上

### 爆発範囲

データなし

蒸気圧	データなし
蒸気密度（空気 = 1）	データなし
比重（密度）	1.03～1.05
溶解度	水 不溶、芳香族溶剤に容易
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

## 10.安定性及び反応性

安定性	通常の取り扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	特に情報を有していない。
避けるべき条件	高温を避ける。
混触危険物質	特に情報を有していない
危険有害な分解生成物	特に情報を有していない。

## 11.有害性情報

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入・蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入・ミスト）	分類できない
皮膚腐蝕性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷及び 眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回曝露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復曝露）	分類できない
吸引力呼吸器有害性	分類できない

## 12.環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中移動性	データなし

### 13.廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

粒状として廃棄する場合は一般塵芥と同様に焼却。

有機溶剤溶液として廃棄する場合は、その使用溶剤の処理方法に準じる。

### 14.輸送上の注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

濡らしてはいけない。湿度の高い状態を避けること。

### 15.適用法令

労働安全衛生法

該当せず

P R T R法

該当せず

毒物劇物取締法

該当せず

消防法

該当せず

### 16.その他

この安全データシートは、弊社の持つ知見をもとに十分注意を払って作成しております。

しかしながら、記載内容は通常の使用におけるものであり、特殊な条件下での使用におけるものではありません。

貴社での取り扱いにおかれましては、適用法令に従うと共にこの安全データシートを参考にして貴社の使用条件に即した取扱い方法を確立の上、安全に使用して頂きたいと思っております。

尚、記載内容のうち、含有量、物理的及び化学的性質の数値は測定値の一例です。